

## 概要シート

対策名	260311 高効率冷凍・冷蔵設備の導入
対策タイプ	設備導入
対象業種	産業用    業務用
分類	冷凍・冷蔵設備
内容・目的	既存の業務用冷蔵庫を、トップランナー基準を達成している業務用冷蔵庫に更新する。
対策技術 の概要	<p>1. 概要</p> <p>2013年にエネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）の一部改正により、業務用冷蔵庫がトップランナー制度の対象に追加された。</p> <p>業務用冷蔵庫のエネルギー消費効率は、JIS B 8630（2009）により、測定、計算された年間消費電力量で表され、区分（①縦型・横型、②冷蔵庫・冷凍冷蔵庫・冷凍庫）及び庫内容積により基準が定められている。</p> <p>2. 業務用冷蔵庫</p> <p>業務用冷蔵庫は、食品の鮮度管理を目的として、レストラン、ファーストフード、外食産業、学校給食厨房や食品加工会社などで使用されている。</p> <p>庫内使用温度帯により、冷蔵庫（-5～10℃）、冷凍庫（-25～-15℃）に大別され、冷凍庫と冷蔵庫を併せ持つ、冷凍冷蔵庫もある。</p> <p>トップランナー制度の対象となるのは、以下のタイプである。</p> <p>1) 縦型タイプ 2) 横型タイプ 3) チェストフリーザー 4) ストッカー</p> <p>2017年3月に冷凍機内蔵型のショーケースがトップランナー制度の対象に追加された。</p> <p>3. 省エネ対策</p> <p>省エネルギーの為に以下のような対策が採られている。</p> <p>1) 高効率インバータ圧縮機 2) 高効率（インバータ）凝縮器ファンモーターによる凝縮器温度範囲制御 3) 高効率（インバータ）庫内ファンモーター 4) 状況・環境判断を反映するデフロスト制御 5) 周囲温度と庫内温度の差により通電率を変更する結露防止ヒーター 6) 扉回りの断熱強化</p>

## 概要シート

### 4. トップランナー基準

以下にショーケースのトップランナー基準の一部を抜粋するが、業務用冷蔵庫他、詳細は多ページになるので同基準の資料の内容を確認していただきたい。

#### 【製造事業者等の判断基準となるべき事項等】

##### 1) 目標年度

ショーケースの目標年度は 2020 年度とする。

##### 2) 目標設定のための区分と目標基準値

各製造事業者等が目標年度に屋内向けに出荷するショーケースにおいて、「3.」により測定した年間消費電力量 (kWh/年) を下表の区分ごとに事業者ごとの出荷台数で加重平均した値が目標基準値 (資源エネルギー庁ホームページ参照) を上回らないようにすること。

表 1. ショーケースの区分と目標基準値 (基準エネルギー消費効率の算定式)

区分名	区 分					基準エネルギー消費効率の算定式	
	外気の遮断	形状	温度等	冷却方式	扉の形態		
A1	クローズドタイプ	箱型	冷蔵	冷氣強制循環形	スイング スライド	$E = 2.24V_1 + 150$	
A2		四面・五面ガラス式			スイング	$E = 4.16V_2 + 85$	
A3		リーティン (冷凍機下置き)			スイング	$E = 2.61V_3 - 217$	
A4					スライド	$E = 0.822V_3 + 694$	
A5			スイング		$E = 5.08V_3 + 427$		
A6		ガラストップ式	冷凍		冷氣自然対流形	スライド	$E = 4.11V_2 + 440$
A7					冷氣強制循環形	スライド	$E = 19.5V_2 + 1643$
B1	オープンタイプ	多段型 (天井吹出型) (薄型)	冷蔵	冷氣強制循環形	—	$E = 11.6V_4 - 440$	
B2					—	$E = 8.31V_4 - 3$	
B3		平型 (片面)	—		低温	—	$E = 17.9V_2 + 1577$
B4					中温	—	$E = 5.03V_2 + 1214$
B5					低温	—	$E = 13.4V_2 + 4321$
B6					中温	—	$E = 20.7V_2 + 1558$

備考 1 E は基準エネルギー消費効率 (単位 kWh/年) の数値を表すものとする。

2  $V_1$ 、 $V_2$ 、 $V_3$ 、 $V_4$ 、は調整冷却内容積であって、次により算出する。

区分名「A1」  $V_1 = (550/D) \times V$

区分名「A2」「A6」「A7」「B3」「B4」「B5」「B6」  $V_2 = V$

区分名「A3」「A4」「A5」  $V_3 = (800/D) \times V$

区分名「B1」「B2」  $V_4 = (600 / ((d+D) / 2)) \times V$

ただし、上記の算定式の結果、調整冷却内容積が区分ごとに於いて、表 2 に掲げる下限値以下の値となるものにあつては、調整冷却内容積は下限値を用いるものとする。

3 D は JIS B 8631-2 に規定する外形寸法に基づく奥行き (単位 mm) をいう。

4 d は天奥行き寸法 (単位 mm) をいう。

5 V は JIS B 8631-2 に規定する冷却内容積 (単位 L) をいう。

## 概要シート

	<p>表2. 区分ごとの下限値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分名</th> <th>調整冷却内容積下限値 (L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>A 1</td><td>1 7 2</td></tr> <tr><td>A 2</td><td>1 7 4</td></tr> <tr><td>A 3</td><td>4 4 4</td></tr> <tr><td>A 4</td><td>8 5 7</td></tr> <tr><td>A 5</td><td>3 8 9</td></tr> <tr><td>A 6</td><td>6 6</td></tr> <tr><td>A 7</td><td>3 7 4</td></tr> <tr><td>B 1</td><td>3 5 6</td></tr> <tr><td>B 2</td><td>2 6 7</td></tr> <tr><td>B 3</td><td>9 0</td></tr> <tr><td>B 4</td><td>1 7 8</td></tr> <tr><td>B 5</td><td>2 0 7</td></tr> <tr><td>B 6</td><td>1 6 3</td></tr> </tbody> </table> <p>3)エネルギー消費効率およびその測定方法            エネルギー消費率は、年間消費電力量 (kWh/年) で評価することとする。また、測定方法は、JIS B 8631-2 で定める方法とする。</p>	区分名	調整冷却内容積下限値 (L)	A 1	1 7 2	A 2	1 7 4	A 3	4 4 4	A 4	8 5 7	A 5	3 8 9	A 6	6 6	A 7	3 7 4	B 1	3 5 6	B 2	2 6 7	B 3	9 0	B 4	1 7 8	B 5	2 0 7	B 6	1 6 3
区分名	調整冷却内容積下限値 (L)																												
A 1	1 7 2																												
A 2	1 7 4																												
A 3	4 4 4																												
A 4	8 5 7																												
A 5	3 8 9																												
A 6	6 6																												
A 7	3 7 4																												
B 1	3 5 6																												
B 2	2 6 7																												
B 3	9 0																												
B 4	1 7 8																												
B 5	2 0 7																												
B 6	1 6 3																												
補足説明																													
参考資料	[1] 経済産業省 資源エネルギー庁ホームページ [2] 日本冷凍空調工業会ホームページ [3] 『業務用冷蔵庫の省エネ』（電気設備学会誌 2014年10月）																												

# 計測シート

対策名	260311 高効率冷凍・冷蔵設備の導入
対策タイプ	設備導入
対象業種	<u>産業用</u> <u>業務用</u>
分類	冷凍・冷蔵設備
内容・目的	既存の業務用冷蔵庫を、トップランナー基準を達成している業務用冷蔵庫に更新する。

1. 冷凍・冷蔵設備モーター電力（電圧、電流、有効電力、力率）
2. 庫内外温度

フロー図  
と計測箇所

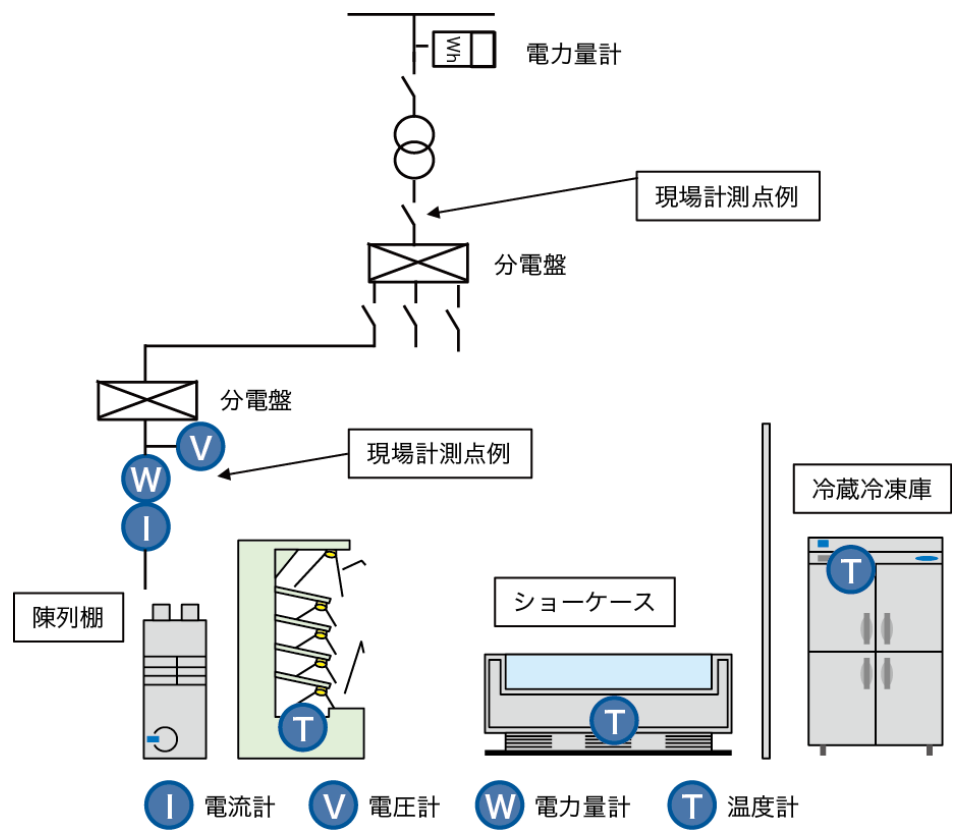


図1. フロー図と計測場所

# 計測シート

1. コンプレッサー消費電力  
 クランプ型電力計（電圧、電流、有効電力、力率、周波数）

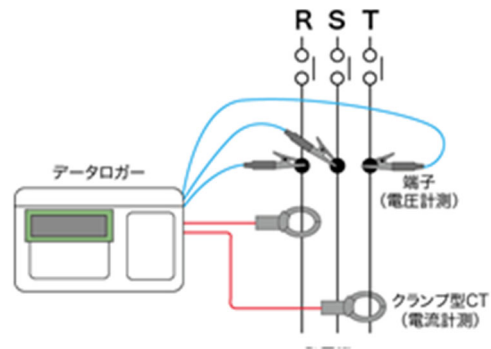


図2. クランプ式電力計

計測装置

2. 温度計  
 ブルドン管式、熱電対式など

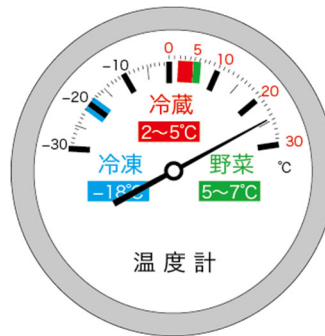


図3. ブルドン管式温度計の例

IOT を用いた倉庫内各部温度管理システムを構築すると、より精度の高い温度管理ができる。

計測留意事項

補足説明

## 算定シート

対策名	260311 高効率冷凍・冷蔵設備の導入					
対策タイプ	設備導入					
対象業種	産業用		業務用			
分類	冷凍・冷蔵設備					
内容・目的	既存の業務用冷蔵庫を、トップランナー基準を達成している業務用冷蔵庫に更新する。					
計算条件	現状の消費電力量を 2007 年度製を基準として 2016 年度製のトップランナー製品に更新した場合として効果を算出する。					
	項目	記号	データ			備考
	年間消費電力量 (現状)	E1	11,711	kWh/年		補足説明
	同 (更新後)	E2	8,942	kWh/年		補足説明
	電力の熱量換算係数	He	9.97	GJ/千 kWh		
	電力の CO <sub>2</sub> 排出係数	fc	0.525	t-CO <sub>2</sub> /千 kWh		
	電気料金単価	ye	18.9	円/ kWh		
	原油換算係数	fo	0.0258	kL/GJ		
補足説明	区分	種類	台数	消費電力量 kWh/年	改善率 %	更新後電力量 kWh/年
	1B	縦型冷蔵庫	1	1,318	23.6	1,007
	2A	縦型冷凍冷蔵庫	2	5,662	26.7	4,152
	3A	縦型冷凍庫	1	3,318	19.6	2,668
	4A	フリーザ	1	863	22.5	668
	4B	冷凍ストッカー	1	551	18.8	448
	合計			11,711		8,942
効果	項目	単位	効果	備考		
	① 削減電気量	kWh/年	2,769	E1-E2		
	② 原油換算削減量	kL/年	0.7	①÷1,000×He×fo		
	③ CO <sub>2</sub> 削減量	t-CO <sub>2</sub> /年	1.4	①÷1,000×fc		
	④ 削減金額	千円/年	52	①×ye÷1,000		
	⑤ 投資項目	なし (温度設定変更のみ)				
測定/ 取得データ	1. モーター電力量、電圧、電流、有効電力、力率 2. 庫内外温度					
留意事項						
出典・ 参考資料	[1] 『工場の省エネルギーガイドブック』(省エネルギーセンター) [2] 『新版 省エネチューニングマニュアル』(省エネルギーセンター)					